

交通規制情報

説明書

平成30年3月

目次

| | | |
|-----|-----------------------|---|
| 1 | はじめに | 1 |
| 2 | ファイル仕様 | 2 |
| 3 | データ概要 | 3 |
| 3.1 | フォルダーとファイル構成 | 3 |
| 3.2 | ファイルに格納する規制種別 | 3 |
| 3.3 | ファイルの構成 | 3 |
| 3.4 | ファイルに格納するレコード区分 | 4 |
| 3.5 | レコードに格納するコード内容 | 5 |
| 4 | レコード仕様 | 6 |
| 4.1 | ヘッダー | 6 |
| 4.2 | 規制情報 | 6 |
| 4.3 | 規制位置 1 | 6 |
| 4.4 | 規制位置 2 | 8 |

1 はじめに

本データは、各都道府県警察が新規に又は既存の内容を変更、廃止して実施した交通規制としてデータベースに入力された情報を警察庁において取りまとめたものです。

本データ作成（対象データ月の15日）後に規制の廃止、又は内容が変更されたものは反映されていません。

また、本データ作成後に交通規制が変更される場合やデータベースへの入力と交通規制の実施時期が異なる場合、データベースへの入力に漏れや誤りがある場合などがあることから、本データに記録されている交通規制すべてが現在実施されているとは限りませんので、実際の運転に当たっては、各道路に設置されている道路標識及び道路標示に従って通行してください。

なお、本データに関するご質問は、「各種情報の提供」のページの最下段の「[ご質問（問合せ送信フォームからお願いします。）](#)」からお願いします（「採用、その他のお問い合わせ」を選択してください。）。

2 ファイル仕様

データを格納するファイルの仕様を以下に記述します。

- ・ Microsoft®Windows 形式とする。
- ・ データは CSV 形式のテキストファイルとする。
- ・ 文字コード及び漢字コードは Shift-JIS 形式とする。
- ・ 文字列の項目に対するダブルクォーテーションを付加しない。
- ・ 行末は改行コード CR+LF とする。

3 データ概要

各データの概要を以下に記述します。

3.1 フォルダーとファイル構成

フォルダーの中には、51 都道府県警察（北海道警察は 5 方面）分の交通規制と規制位置を表現した CSV ファイルが格納されています。

CSV ファイルは、1 都道府県方面につき 1 ファイルです。

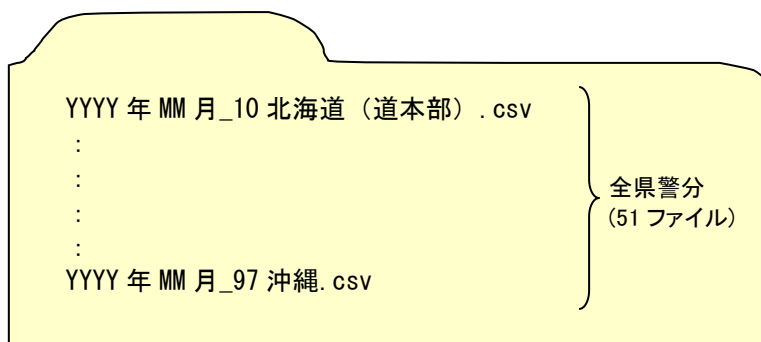
なお、出力対象のデータが存在しない場合も、ファイルは作成されます。

【ファイル名】 YYYYY 年 MM 月_[県警コード][県警名]. csv

【ファイル形式】 CSV(半角カンマ区切り)

【ファイル単位】 1 県警 (1 方面) 1 ファイル

【フォルダー構成】



3.2 ファイルに格納する規制種別

ファイルに格納される規制種別は以下の 11 種類です。

| No. | 規制種別 |
|-----|-------------|
| 1 | 歩行者用道路 |
| 2 | 自転車用道路 |
| 3 | 自転車及び歩行者用道路 |
| 4 | 通行止め |
| 5 | 車両通行止め |
| 6 | 指定方向外進行禁止 |
| 7 | 一方通行 |
| 8 | 一時停止 |
| 9 | 信号機 |
| 10 | ゾーン 30 |
| 11 | 環状交差点 |

3.3 ファイルの構成

出力対象の交通規制に関する情報がない場合は、ヘッダー情報も記録されません。

出力対象の交通規制に関する情報がある場合は、1 行目は県警名、データ作成日を示すヘッダー情報で各ファイルに必ず 1 件記録されます。2 行目以降が交通規制に関する情報です。

「規制情報」で始まる行から次の「規制情報」で始まる行の 1 つ前の行までが 1 件の交通規制を示しています。

「規制情報」で始まる行は規制パターンや規制種別名などを示しており、1 つの交通規制に必ず 1 行記録されます。

「規制位置 1」、「規制位置 2」で始まる行は規制位置を示しており、1 つの交通規制に必ず 1 行以上記録されます。

「規制位置 1」、「規制位置 2」で始まる行は「規制情報」の規制パターンにより記録される内容が異なります。※規制パターンは後述の 3.5.1 規制パターンコード を参照してください。

3.4 ファイルに格納するレコード区分

ファイルに格納するレコードの区分（4種類）、内容、出力単位は以下のとおりです。

| No. | レコード区分 | レコードの内容 | 出力単位 |
|-----|--------|---------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|
| 1 | ヘッダー | ファイルのヘッダー情報を格納 | 1 ファイルに対して、1行記録される |
| 2 | 規制情報 | 交通規制の内容を格納 | 1 交通規制に対して、1行記録される |
| 3 | 規制位置 1 | 交通規制の位置情報を格納 (地点や進入路、区間の座標値) | 1 「規制情報」に対して、1行以上記録される |
| 4 | 規制位置 2 | 交通規制の位置情報を格納 (退出路の座標値) | ①指定方向外進行禁止規制以外の場合 記録無し。 ②指定方向外進行禁止規制の場合 1 「規制位置 1」に対して、1行記録される |

レコードサンプルは以下のとおりです。

| レコードサンプル | |
|--------------------------|------------------------------------------------------------------------------|
| ① 規制位置が1行 (指定方向外進行禁止以外) | 規制情報 └─規制位置 1 |
| ② 規制位置が1行 (指定方向外進行禁止) | 規制情報 └─規制位置 1 └─規制位置 2 |
| ③ 規制位置が複数行 (指定方向外進行禁止以外) | 規制情報 └─規制位置 1 └─規制位置 1 |
| ④ 規制位置が複数行 (指定方向外進行禁止) | 規制情報 └─規制位置 1 └─規制位置 2 └─規制位置 1 └─規制位置 2 └─規制位置 1 └─規制位置 2 |

3.5 レコードに格納するコード内容

各レコードで使用するコードの内容と詳細は以下のとおりです。

3.5.1 規制パターンコード

| コード | 内容 | 詳細 |
|-----|----------------|----------------------|
| P2 | 点規制（進入方向あり） | 進入方向を持つ地点規制を示す |
| P3 | 点規制（進入・退出方向あり） | 進入方向・退出方向を持つ地点規制を示す |
| L1 | 線規制 | 方向をもつ、又は、もたない区間規制を示す |
| L2 | 線規制 | 方向をもつ区間規制を示す |
| L3 | 線規制 | 方向をもたない区間規制を示す |
| A1 | 面規制 | 区域を限定して適用される面規制を示す |

3.5.2 上下線区分

| コード | 内容 | 詳細 |
|-----|--------------|-----------------|
| 1 | 方向あり（始点から終点） | 始点から終点に向かう方向を示す |
| 2 | 方向あり（終点から始点） | 終点から始点に向かう方向を示す |
| 3 | 方向なし | 規制方向なしを示す |

4 レコード仕様

各レコードの項目内容について以下に記述します。

4.1 ヘッダー

1. レコード区分
当該行のレコード区分（「ヘッダー」固定）
2. データ作成年月日
データ出力した日付（YYYY/MM/DD 形式）
3. 県警名称
データ出力する対象の県警名称

4.2 規制情報

1. レコード区分
当該行のレコード区分（「規制情報」固定）
2. 規制台帳 ID
規制台帳の管理番号
3. 所属名称
規制を管理する所轄の名称
4. 規制種別
規制種別の名称
5. 規制パターンコード
規制形状に応じたコード
6. 意思決定年月日
規制台帳について意思決定した日（YYYY/MM/DD 形式）
7. 区分
規制台帳の更新区分（新規、更新、廃止のいずれか）
8. 住所番地（始点、終点）
規制の対象地点住所、または、規制区間の始点住所と終点住所
9. 車両条件
規制の対象となる車両、または、対象と対象外となる車両
10. 時間条件
規制の対象となる開始時刻、終了時刻、または、対象と対象外となる開始時刻、終了時刻
11. 曜日条件
規制の対象となる曜日、または、対象と対象外となる曜日
12. 特殊条件
車両条件、時間条件、曜日条件で表現できない特殊な規制条件

4.3 規制位置 1

座標の表記方法は、日本測地系における 128 分の 1 秒単位の絶対座標で X 値と Y 値を半角コロンで繋ぎます。

4.3.1 P2 の場合

1. レコード区分
当該行のレコード区分（「規制位置 1」固定）
2. 場所管理番号
1 つの交通規制に含まれる規制位置毎の管理番号
3. 規制位置座標
規制位置の座標
4. 進入路の交差点座標
進入路の進入側交差点の座標

4.3.2 P3 の場合

1. レコード区分

- 当該行のレコード区分（「規制位置 1」固定）
- 2. 場所管理番号
1つの交通規制に含まれる規制位置毎の管理番号
- 3. 規制位置座標
規制位置の座標
- 4. 進入路の交差点座標
進入路の進入側交差点の座標

4.3.3 L1～L3 の場合

- 1. レコード区分
当該行のレコード区分（「規制位置 1」固定）
- 2. 場所管理番号
1つの交通規制に含まれる規制位置毎の管理番号
- 3. 上下線区分
規制の方向を表す区分
- 4. 規制開始位置座標
規制開始位置の座標
- 5. 規制終了位置座標
規制終了位置の座標
- 6. 経由交差点数（規制開始位置座標、規制終了位置座標は含まない。）
1つの規制形状に含まれる経由交差点の数
- 7. 経由交差点座標（規制開始位置座標、規制終了位置座標は含まない。）
経由交差点の位置座標（規制開始位置から規制終了位置に向かう方向順に経由交差点数分繰り返し）

4.3.4 A1 の場合

- 1. レコード区分
当該行のレコード区分（「規制位置 1」固定）
- 2. 場所管理番号
1つの交通規制に含まれる規制位置毎の管理番号
- 3. 外周構成点数
(始点、終点はポリゴンを形成するために、同じ地点を示す。従って、外周の始点と終点は、それぞれ出力されるので、その地点においては2点とカウントされる。)
面規制の外周を構成する頂点の数
- 4. 構成点座標
外周構成点の位置座標（外周構成点数分繰り返し）
- 5. 除外地点数
規制の区域内において、規制を除外する地点の数
- 6. 除外地点座標
規制の区域内において、規制を除外する地点の座標（除外地点数分繰り返し）
- 7. 除外区間数
規制の区域内において、規制を除外する区間の数
- 8. 除外区間の開始地点座標
除外区間の開始位置座標（除外区間の終了地点座標とセットで、除外区間数分繰り返し）
- 9. 除外区間終了地点座標
除外区間の終了位置座標（除外区間の開始地点座標とセットで、除外区間数分繰り返し）

4.4 規制位置 2

規制パターンコードが P3 の場合のみ記録されます。

規制パターンコードが P3 以外の場合は、記録されません。

座標の表記方法は、日本測地系の 128 分の 1 秒単位の絶対座標で X 値と Y 値を半角コロンで繋ぎます。

1. レコード区分
当該行のレコード区分（「規制位置 2」固定）
2. 退出方向数
1 つの進入路に対する退出方向の数
3. 退出路の交差点座標
退出路の退出交差点座標（退出方向数分繰り返し）
4. 経由交差点数（規制対象交差点、退出路の退出交差点を含まない。）
規制位置座標から退出路の交差点座標までの間に含まれる交差点数（退出方向数分繰り返し）
5. 経由交差点座標（規制対象交差点、退出路の退出交差点を含まない。）
経由交差点の位置座標（経由交差点数分、退出方向数分繰り返し）